

学校名

狭山市立富士見小学校

本校児童会生徒会は、「さやまっ子の誓い」を

承認します

承認しません。

## 本校のいじめ防止に関する実践

### 1 児童会めあて

富士見小学校では、毎年新しい学年が始まると、「どんな学校にしていきたいか」について4年生以上のクラスで話し合い、代表委員会が中心となって、「児童会めあて」を決めています。今年度のめあては、「にじ色の 明るい未来へ 出発進行」です。「にじ色（＝七色）」という言葉には、「富士見小学校1～6学年となかよし学級の友達みんな」という意味が込められています。いろいろな友達がいる富士見小学校全員で、それぞれの明るい未来へ向かって力を合わせて行こう、という思いで決めためあてです。このめあては、1階の昇降口に掲示してあり、登校する時や校庭へ出るとき、下校する時などに、いつも目に触れるようになっています。

### 2 レインボータイム

富士見小学校では、縦割り班を「レインボー班」と呼んでいます。「レインボータイム」とは、レインボー班で遊ぶ朝の時間のことです。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、行えなかった時期もありますが、毎週金曜日が「レインボータイム」となっています。6年生がリーダーとなり、低学年も楽しめるような遊びを考え、工夫しながら計画しています。

また、レインボー班で行う大きな行事に、11月に行っている「ふじみっ子まつり」があります。レインボー班で1つのお店を作り上げ、お店とお客の役割を交替しながら遊んで楽しむ行事です。「どんなお店にしたら、みんなが仲よく楽しめるか」をテーマに、高学年が中心になって取り組みます。お店作りを通して、班の仲間と触れ合う機会が増え、さらに仲が深まっていきます。今年度のスローガンは、「ふじみっ子 マスクの下はスマイルで」でした。コロナ禍で、今まで通りにできないこともありますが、全校で行事ができることに感謝し、みんなが笑顔になるような素敵なまつりにしよう、という思いを込めました。当日、お店とお客の役割交代の時には、全員で「エビカニクス」の音楽に合わせてダンスを踊りました。この全校行事で、学年に関係なく協力し、みんなと一緒に楽しむ経験ができ、よい思い出になりました。その後のレインボータイムでは、さらに仲よく遊ぶことができるようになりました。



### ③ なかよしキャンペーン

富士見小学校では、友達を大切に、差別のない学校をつくるために、「なかよしキャンペーン」を行っています。各クラスで話し合い、「ふわふわ言葉をたくさん使おう」「誰にでも声をかけ、さそい合って一緒に遊ぼう」など、めあてを決めてカードに記入します。決まっためあては、放送で全校に知らせ、学校全体で取り組んで行こうという意識を高めます。

また、キャンペーンに合わせて、代表委員会では今年度、「あいさつ運動」と「じゃんけん大会」を行いました。「あいさつ運動」では、代表委員が登校時に昇降口に立ち、富士見小学校のみんなが1日を気持ちよくスタートできるように、明るいあいさつをしました。休み時間に計画した自由参加の「じゃんけん大会」には、低学年を中心にたくさんのふじみっ子が参加してくれました。



このように、富士見小学校では、全校で仲よくできるような取り組みを行ってきています。普段から、仲よく楽しく学校生活を送ることが、お互いを大切に、いじめを防ぐことにつながると考えています。これからも、相手の立場に立って考えることや、困っている友達がいたらすぐに手助けすることを忘れずに、このような取り組みを続け、「いじめや差別をしない、させない、許さない」学校づくりをしていきたいと思ひます。

狭山市立富士見小学校 代表委員会 6年